

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112M002	家庭科授業論 (Practical Teaching Theory of Home Economic )																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 財津庸子、都甲由紀子  E-mail 財津:yzaitso@oita-u.ac.jp, 都甲:togo-uykiko@oita-u.ac.jp 内線 財津:7601											
授業の概要	中学校及び高等学校の教育実習における授業の改善案作成、家庭科の実践例の収集・分析に基づき、教材研究を行い、模擬授業を通してよりよい授業のあり方について実践的に学ぶ。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	家庭科指導法(中)をふまえ、具体的に中学校・高等学校の家庭科の授業を構想する。																
目標2	家庭科の実践例を収集し、分析する。																
目標3	構想した授業の教材研究をする。																
目標4	構想した授業の模擬授業をする。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	ガイダンス・家庭科の授業の構成要素																
2	教育実習の指導案改善の検討1																
3	教育実習の指導案改善の検討2																
4	中学校の実践例の分析																
5	高等学校の実践例の分析																
6	個人テーマの実践例の分析と発表																
7	中学校の教材研究																
8	高等学校の教材研究																
9	教材開発:衣生活・食生活・住生活																
10	教材開発:家族・家庭生活																
11	教材開発:消費生活と環境																
12	中学校の模擬授業																
13	高等学校の模擬授業																
14	個人テーマの模擬授業																
15	授業づくりのまとめ																
ラ ッ ク ニ テ ン イ グ ラ フ	A:知識の定着・確認	調べ学修, レポート・ライティング, 模擬授業, 相互評価					工 夫 そ の 他 の	アイスブレイク, 動画の活用, Moodleの活用(フォーラム, アンケート, 小テスト)									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前に提供された資料等に基づいて予習する(15h)。															
	事後学修	授業中に課された課題に取り組む(9h)。授業中に指示をした実習に取り組む(12h)。															
教科書	文部科学省 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(2017) 文部科学省 高等学校学習指導要領解説 家庭編(2018) 中学校 技術・家庭 家庭分野 開隆堂(2021)																
参考書	伊藤葉子編著「新版 授業力UP 家庭科の授業」日本標準(2018) 乗本秀樹著「家庭科に学ぶ生活論と教育論」家政教育社(2002) 小・中・高をつなげる試み 大分県の家庭科実践事例集 教育図書(2008)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	50%															
	指導案・模擬授業	30%															
	Moodleのフォーラムでの発言	10%															
	教材研究の成果物	10%															
	上記の評価項目を総合的に判断して評価する。																
注意事項	教材研究や実習に向けた取り組みの中で、必要な物品や時間外学習については自分で準備等整えること。																
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。 取り扱う内容の順番が状況によって入れ替わることがある。																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	中・高家庭科教諭経験（財津庸子，都甲由紀子）
実務経験を いかした教 育内容	実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能を、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。